

倉淵移動教室

2026.5.25 校長 西谷 秀幸

先々週の14日(木)・15日(金)に、5年生と倉淵移動教室に行ってきました。今日は、その様子を写真で簡単に紹介します。

倉淵という場所は、群馬県の端の方、ちょっと行くと長野県という場所にあります。

1日目、朝7時に集まって出発式を行い、バスで出発しました。高速道路に入ると、楽しいバスレクを行いました。途中、上里サービスエリアでトイレ休憩をしました。

そして、榛名富士の麓に到着しました。この榛名富士の左側に小さく見えるのが、3月に朝会で話をした「ひとつっこ山」です。

最初に、榛名富士の山登りをしました。15分に1回くらい休憩しながら、急な山道を約1時間、大変でしたが、みんなで声をかけあったりして、頑張って登りました。先に登った人がゴールで待っていて、ハイタッチをしました。みんな、ゴールをしたときの笑顔が素敵ですね。シートをしいて休憩している人もいました。

山の上から見える榛名湖がなど、景色が綺麗ですね。クラス写真を撮り、しばらく景色を眺めたあと、ロープウェイで降りて、お昼御飯は、榛名湖の湖畔で食べました。今年は雨が少ないせいか、いつもなら湖の水が少なく、本当ならば湖の底になるところところまで降りることができました。

そのあと、バスで移動して八ッ場ダムに行きました。八ッ場ダムは、できたばかりの新しいダムで、ここでためた水は、東京に住んでいる人の飲み水になります。4年生は、今、社会科で水について学習していますね。

まずは、ダムの上から見学し、特別に長い階段を降りさせてもらいました。下から見ると、ダムの大きさや放水に驚きました。そして、再び、エレベーターで上がって上から見学しました。

そのあと、はまゆう山荘に到着し、入館式を行いました。そして、部屋に入り、お土産を買いました。兄弟姉妹がいる人は、お土産をもらったでしょうか。

1日目の夕食は、ハンバーグとミックスフライでした。たくさん歩いたので、おかわりしている人もいて、お腹いっぱい食べました。

夜はキャンプファイヤーを行い、みんなで楽しく盛り上がりました。そのあと、天然温泉のお風呂に入り、9時10分に電気を消して寝ました。

2日目です。朝6時に起き、6時30分から朝会をして、「ドラえもんラジオ体操」で体を動かしました。そして、朝7時15分から、朝御飯を食べました。朝御飯はバイキング方式だったので、自分の食べたいものを食べたい量だけ選んで食べました。

朝食後、部屋の掃除をし、退館式で御礼を言ってから、グリーン牧場に向かいました。途中、道路の脇にカモシカがこっちをじっと向いて立っていました。

グリーン牧場では、シープドッグショーを見たり山羊や羊と触れ合ったりしました。そして、お弁当を食べ、牧場のとても美味しいソフトクリームを食べてから、学校に戻ってきました。

5年生は、見通しをもって行動したり、友達と協力したりして、自分たちの力で楽しい時間を作り出し、一回り成長して帰ってきました。5年生に会ったら、ぜひ倉淵移動教室の話聞いてみてください。また、学校のホームページでも紹介しているので、見てくださいね。

これで朝会話を終わります。

(裏面に「先生方へ」があります)

〈先生方へ〉

先週は、倉渕移動教室お疲れさまでした。宿泊場所が榛名林間学園から「はまゆう山荘」に変更になって2年目。天気予報が心配でしたが、2日間、雨に降られることなく、また大きな怪我や病気などなく、楽しく過ごすことができました。帰校式で、「変化や成長にはきっかけがある」という話をしましたが、行事を通して子供たちが大きな成長したことは間違いありません。これをぜひ継続していけるように今後も御指導をよろしくお願い致します。5年担任をはじめ、引率の先生方、サポートしてくださった先生方、ありがとうございました。なお、倉渕移動教室の様子は、本校のホームページでも公開していることを子供たちに伝えてください。

また、先週の土曜日（23日）は、2年生以上の学年にとって、今年度最初の土曜授業（学校公開）、及び引き渡し訓練、お疲れさまでした。今週は、延期となっていた遠足があります。暑くなりそうなので、熱中症に十分気を付けて御指導していただくよう、よろしくお願い致します。

【資料】 はまゆう山荘と榛名湖町・榛名山について

1987年（昭和62年）5月に、横須賀市の市制施行80周年記念事業の一つとして、横須賀市民休養村「はまゆう山荘」が建設された。はまゆう山荘は、北欧のシャトーを思わせる、石と木が見事に組み合わされた重厚な建物で、昭和63年に第29回建築業協会賞を受賞している。

横須賀市と旧倉渕村は、1981年（昭和56年）に友好都市としての提携を結んでいたが、そのつながりは2027年のNHK大河ドラマ「逆賊の幕臣」で主人公として描かれる幕末の偉才、小栗上野介忠順にまでさかのぼる。当時、勘定奉行をしていた小栗上野介は、横須賀の今日の発展の基礎となった横須賀製鉄所の建設を進めた人だが、彼の領地が権田村（倉渕村権田）であったことがきっかけとなっている。倉渕村権田は、小栗上野介が非業の生涯を閉じた最後の地で、彼の墓所は権田の東善寺にあり、斬首された川のほとりには「偉人小栗上野介罪なくして此処に斬られる」と刻まれた碑が建てられている。

2005年（平成17年）10月1日、はまゆう山荘は、横須賀市から倉渕村に譲渡され、2006年（平成18年）1月23日、倉渕村は高崎市に編入された。

また、榛名湖町は、群馬県高崎市の地名である。旧榛名町時代は、群馬郡榛名町大字榛名山であり、2006年（平成18年）10月1日に高崎市に編入された。

上毛三山の一つである榛名山の火山活動によって生まれた、標高1,100メートルにある榛名湖は、年間を通じて美しい景観と自然を満喫できる高崎市で一番人気のアウトドアスポットでもあり、爽やかな空気の中、ボートや遊覧船、オートキャンプなどが楽しめる。また、年間を通じて、ヒルクライムやトライアスロンなど数多くのスポーツイベントが行われ、冬の「榛名湖イルミネーションフェスタ」では、湖周辺を約50万球の電球が彩って、幻想的な世界をつくりだしている。

榛名山の名前は関東百名山の一つとして有名だが、榛名山は実は単独の山を指す名前ではない。一般的には、榛名湖にリフレインする富士山のような姿が美しい榛名富士のことを榛名山と呼ぶことが多いようだが、実はそれは間違いで、榛名山とは榛名湖カルデラの周囲に広がる山をひっくるめた総称で、榛名山という名の峰は存在しない。榛名富士として有名な山に見えるものも、実は山ではなく、もともとの榛名山が噴火してできた時の溶岩ドームだという。では、どこの山を登ったら榛名山登頂をいえるのかというと、榛名山の中の最高峰である掃部ヶ岳（1449m）なのだそうだ。

これらの榛名富士や外輪山は、秋になると紅葉で真っ赤に染まって美しい。